

第10章 達成状況の評価

1. 評価の実施体制

- 社会状況や経済状況等の変化により、当初期待された事業による効果が表れない可能性も考えられます。
- そのため、「にいがた都市交通戦略推進会議」において、影響、効果の検証・評価（Check）を行い、必要に応じて施策内容を見直し（Action）、計画（Plan）を修正し、実施及び運用（Do）を行う、PDCAサイクルを用いて、継続的な施策の見直しと実施を行います。



図 PDCA サイクル

2. 達成状況の確認方法

- 5つの基本方針の成果指標と、各施策の実施状況を用いて確認します。

3. 評価方法

- 1年ごとに事業の実施状況や可能な評価指標値を整理し、計画の進捗確認と効果の検証・評価を実施します。これを踏まえて毎年度の取り組み内容を見直します。
- また、計画期間の最終年度（2028年度）に最終評価を行います。